

— 雇用就農資金を活用した取組事例 —

富山県富山市 有限会社グリーンパワーなのはな

労働者の負担軽減

- 農繁期でも休暇が取りやすい作業体制と農閑期の連続休暇で有給休暇取得率を向上
- 高齢者でも安心して働ける雇用制度を整備して高齢者の雇用も確保

概要

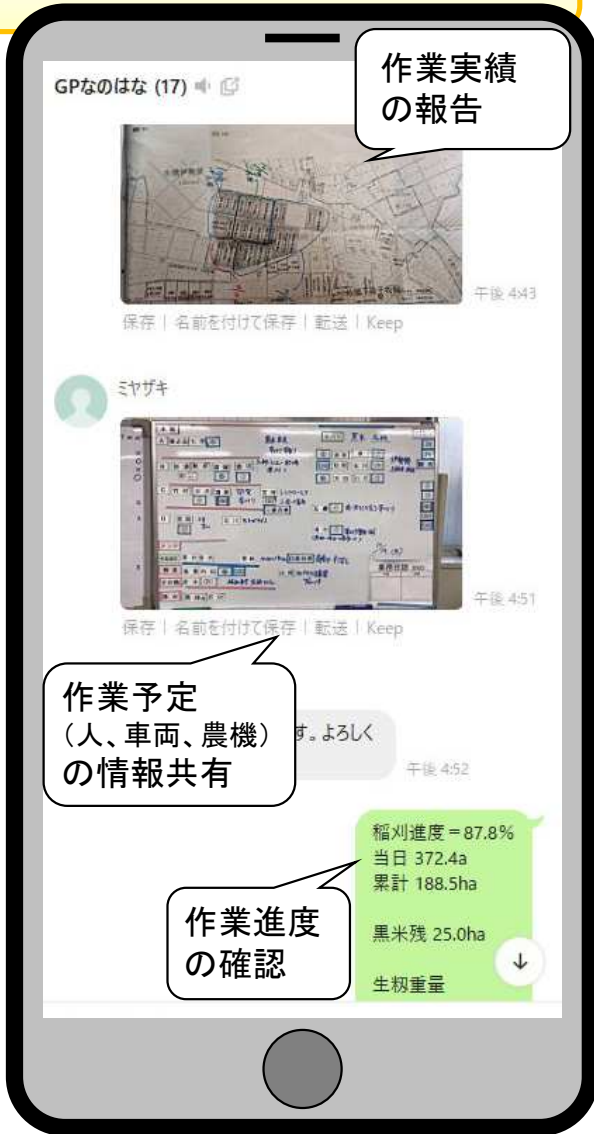
【設立】 1996年7月
【代表者】 青山 茂
【売上】 25,800万円
【事業内容】 水稻、大豆・野菜の生産、販売
【経営面積】 水稻 209ha、大豆 19ha、野菜 0.3ha
【主要取引先】 JA、直売所、通信販売
【従業員数】 正社員 16名、契約社員 14名
【ホームページ】 <https://gp-nanohana.com/>



労働者の負担軽減の取組

【働き方の改善】

- ・農繁期でも本人の希望を優先して休暇取得ができる体制(出勤可能者のみで作業計画を随時見直し)をとる。また、農閑期(冬期)に有給休暇を連続5日取得する制度を実施。2022年度 直接員の有給休暇取得率は、正社員:85.3%、契約社員:118.9%。
- ・2拠点間の作業実績や作業予定の共有にスマートフォンアプリ「LINE」を使用することで情報共有に関する業務負担の軽減と作業の円滑化を図る。
- ・農閑期休暇(3か月)で通年雇用の契約社員制度を設け高齢者も安心して働ける環境を整備。(本人の引退宣言まで勤務可能、最高齢実績:86歳)



キャリアプランイメージ

本人の希望を優先(責任者になりたくない場合も考慮)

OJT(4年:雇用就農資金活用)

- ・基礎的な栽培管理技術の習得
- ・大型特殊自動車免許取得

5~6人の作業班の責任者(5年目~)

- ・担当地区での肥培管理の計画・管理
- ・作業班間の人員や農機具の調整

主任(6年目~)

- ・経営計画の策定・執行
- ・人材の確保・育成

情報共有で業務の円滑化